



## 今後の返還地モデルに

北中城村アワセ  
土地区画整理組合

吉村正夫理事長

今後の跡地利用のモデルにした  
いと思ひ、返還地の地権者で区画  
整理事業に取り組んだ。日米特別  
行動委員会（SACO）合意で返  
還が決まり、民間が主体となる開  
発だ。ここで蓄積された経験や情  
報は今後も生かせるだろう。

スピーディーであること、土地  
の価値を上げること、土地  
地権者が基地返還に不安を持たず  
に、返還後も経済的に成り立つて  
いくことを実証したかった。その  
ために、いまちづくりをしなけ  
ればならないと思っている。

かつてこの地は緑が多く豊かな  
村だった。その村を再現しようと  
いう熱意が人々を動かした。基地  
内は立ち入りが制限されているた  
め困難もあったが、返還前から文  
化財の調査や地形を確認するため  
の測量調査などを実施した。

イオンモールがオープンする  
が、今後さらに医療施設や住宅な  
どができる。事業全体で、町の中  
を人が歩くコンパクトシティを  
目指している。



「今後の跡地利用のモデルにしたい」と話す北中城村アワセ土地区画整理組合の吉村正夫理事長＝沖縄市知花

## イオンモール街びらき

【北中城】イオンモール沖縄ライカムの25日からの開業を前に、地権者でつくる北中城村アワセ土地区画整理組合は21日、モールへの正面入り口へ続くイオンモールアライバル通りで「街びらき開通式」を開いた。通りの管理を組合から村に引き継いだ。

組合の吉村正夫理事長は、「行政と民間が協力し、組合が目標に掲げた地権者の利益、地域貢献、跡地利用のモデルになる事業を

### 北中城 アライバル通り開通

現する第1号になった」と関係者に感謝した。今後、周辺に病院や住宅などが建設されることに触れ「事業の成功に向け取り組んでいく」と決意した。

開通式には、来賓として新垣邦男村長、井上一徳沖縄防衛局長らが出席した。

式典後は、先導役で村島袋地区の青年会がエイサーを舞い、関係者や来賓が続いて通り初めをした。



テープカットや風船を飛ばしアライバル通りの開通を祝う関係者＝21日午後、北中城村・イオンモール沖縄ライカム